

第6号様式（第5の2関係）

議 事 概 要

会 議 名	令和7年度第3回種子島警察署協議会
会 議 日 時	令和8年2月27日（金曜日）午後3時から午後4時30分まで
会 議 場 所	種子島警察署3階会議室
出 席 者	1 警察署協議会 会長以下 7人 2 警察署 署長以下 8人
<p>（会議の概要）</p> <p>1 開会 2 会長挨拶 3 議事 (1) 業務推進状況説明 (2) 業務運営に関する諮問・答申 (3) 警察活動の視察 4 閉会</p> <p>（業務運営に関する諮問・答申）</p> <p>諮問 種子島の方々の「期待に応える警察活動」について、「特に力を入れる点」「工夫すべき、改善すべき点」はないか。</p> <p>委員 署長からの説明で警察と消防が連携していることが分かった。 社会情勢等により警察を取り巻く環境も大きく左右されることが予想されるため、関係機関との連携をお願いします。</p> <p>委員 警察の方々が目に見える形で活動していることが分かり、年末年始も平穩に生活することができた。 「いかのおすし」についての説明があったが、子どもの「いかのおすし」は子どもたちは覚えているが、大人の「いかのおすし」は大人が覚えていない現状がある。 大人の「いかのおすし」についても、回覧板や広報紙である「市政の窓」を活用して見える形で広報を行えば浸透してくるものと思う。 また、春になると交通安全運動が始まるが、当方も保護者と連携を図って取り組んでいく。</p> <p>委員 詐欺の被害について全国で増加していると思うが、種子島でも発生していることが分かった。 詐欺被害防止の広報については、防災無線を活用して毎日続けることが大事だと思う。 すぐに効果が現れるものではないと思うが、防災無線を聞いている島民は多いので地道に続けていくことが大事だと思う。 また、地域との交流会において警察官による「いかのおすし」をクイズ形式で行ったが、大変好評であった。 警察官が交流会に積極的に参加することにより、住民が気軽に相談できる関係を築くこともできるし、顔を覚えてもらうことにもつながると思う。</p> <p>委員 県警が信頼回復に向けて取り組んでいることがよく分かった。 署長から警察と消防の合同訓練について説明があったが、消防のほかにも海上保安庁やその他の行政機関とも連携を図ることができれば、地域の見え方も変わってくると思う。</p> <p>委員 交番に勤務している警察官は、旧駐在所跡地に住んでいる方もいると思うが、地域との触れ合いが足りないと思う。 校区でセミナーなどをやっているのだから、来年度からはお声掛けさせていただく。 その際は参加をお願いします。</p> <p>委員 前回の協議会において「徒歩でのパトロール」について発言し、早速、寒い中実施していただいたことについて感謝する。</p>	

見える形の活動で伝わるものがあった。
また、先日警察学校の卒業式で警察官がインタビューを受けている様子を見た。
警察官一人一人が原点に立ち戻ることも大事だと思う。
安全・安心に生活するため住民に寄り添って、防災無線を活用するなど引き続き見える形で警察活動を推進してもらいたい。

委員

振り込め詐欺がなかなか減らない。

種子島では令和7年12月、令和8年1月は被害が発生していないとのことであったが、これを今年の11月まで続けてもらいたい。

私の携帯電話にも迷惑メールが送られてくるが、無視することが大事だと思う。

委員

うそ電話詐欺について、警視庁の防犯アプリ「デジポリス」を鹿児島でも進めてみるのも効果があるのではないか。

署長

皆様の御意見を参考にさせていただきながら、種子島の方々の「期待に応える警察活動」に取り組んで参りたい。

取組結果等については、次回、説明させていただく。

備 考	
-----	--